

2023年3月期

決算説明会

ニデック株式会社



Nidec
All for dreams

－ 注意事項 －

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

表紙の写真は、ニデックマシンツールが本年4月から販売を開始したホブ盤「GPH15A」です。電気自動車やロボットの部品製造に欠かすことができない歯車工作機械を中国国内でスピーディに供給します。併せて、歯車加工に必要な切削工具の生産・サービス体制も整え、同国の旺盛な歯車需要に応えます。本スライドのP. 23、また詳細は当社Webも併せてご確認ください。<https://www.nidec.com/jp/product/news/2023/news0328-01/>

■ 連結決算業績



(百万円)	21年度	22年度	増減率	23年度 通期見込
売上高	1,918,174	2,242,824	+16.9%	2,200,000
営業利益	170,374	100,081	-41.3%	220,000
営業利益率	8.9%	4.5%	-	10.0%
税引前利益	170,032	120,593	-29.1%	210,000
親会社の所有者に帰属する 当期利益	135,759	45,003	-66.9%	165,000
一株利益 (円)	232.40	78.19	-66.4%	287.08
配当金 (円)	65.0	70.0	-	70.0
対米ドル為替レート				<想定レート>
平均・・・	112.38円	135.47円	+20.5%	米ドル=120円
期末・・・	122.39円	133.53円	+9.1%	ユーロ=130円

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円（全てFY23通期ベース）

3

■ 2022年度連結決算ハイライト

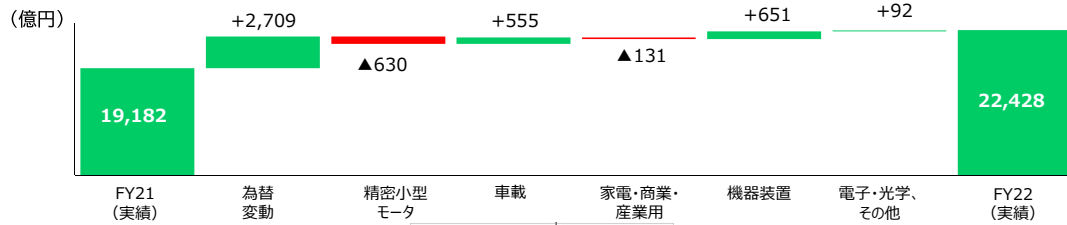


- 連結売上高は、前期比16.9%増収の2兆2,428億円となり**過去最高を更新**。
- 営業利益は、当期に**構造改革費用757億円を計上**し、前期比41.3%減益の1,001億円。
- 税引前利益は、**為替差益200億円を計上**した影響も含め、前期比29.1%減益の1,206億円。
- 当期利益は、**法人所得税費用750億円を計上**した影響や非継続事業からの**当期損失20億円を計上**した影響も含め、前期比66.9%減益の450億円。
- **WPR-X** 活動による**抜本的な収益構造改革を継続中**。2023年度の**V字回復の実現を目指す**。

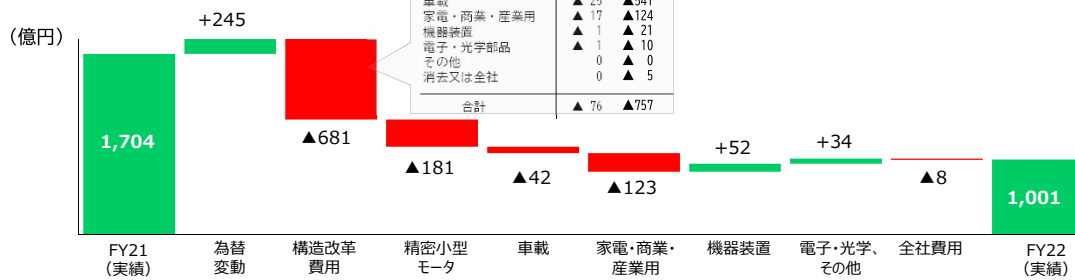
4

2022年度通期の前年比増減分析

【売上高】

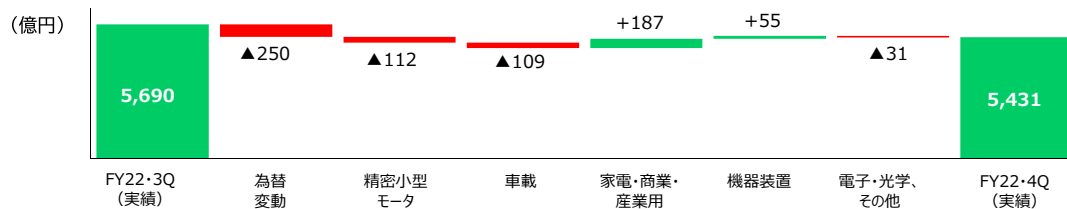


【営業利益】

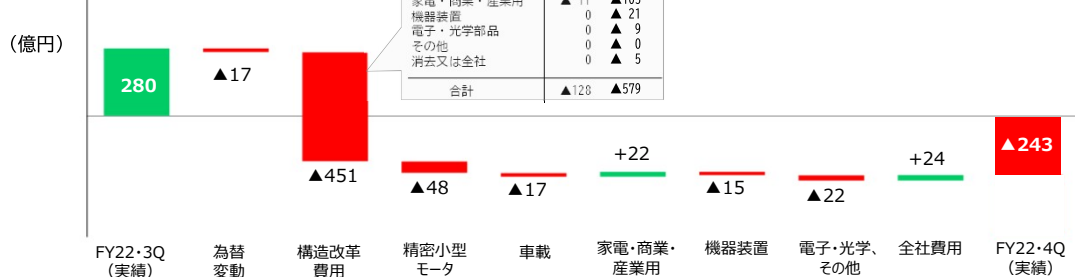


2022年度4Q（3ヶ月）の直前四半期比増減分析

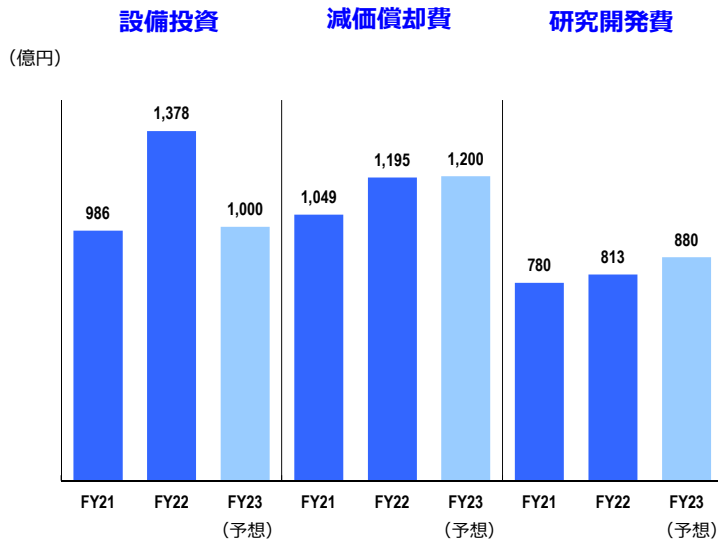
【売上高】



【営業利益】



■設備投資・減価償却費・研究開発費



中長期成長を支える設備投資と研究開発は積極的に継続

■2023年度業績予想



(百万円)	上期	下期	通期
売上高	1,000,000	1,200,000	2,200,000
営業利益	100,000	120,000	220,000
営業利益率	10.0%	10.0%	10.0%
税引前利益	95,000	115,000	210,000
親会社の所有者に帰属する当期利益	74,000	91,000	165,000
一株利益 (円)	128.75	158.33	287.08
配当金 (円)	35.00	35.00	70.00
対米ドル為替レート	120円	120円	120円
対ユーロ為替レート	130円	130円	130円

中長期戦略目標

■役員人事：副社長（後継者候補）を5名選出

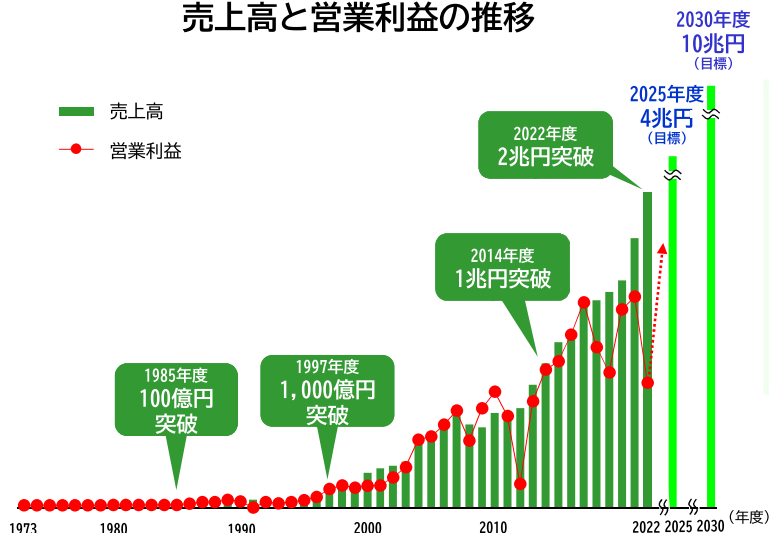


社長就任者を指名委員会において選定（24年4月）、社長4年・会長4年の任期で経営を継承

大塚 俊之	西本 達也	北尾 宜久	小関 敏彦	岸田 光哉
副社長執行役員 ・ ニデックインスツルメンツ㈱ 代表取締役社長執行役員 ・ 2004年11月入社、57歳	副社長執行役員 ・ 機械事業本部長 ・ ニデックドライブテクノロ ジー㈱ 代表取締役社長執行 役員 ・ 2009年5月入社、66歳	副社長執行役員 ・ グループ会社事業本部長 ・ 小型モータ事業本部担当 ・ 2012年4月入社、63歳	副社長執行役員 ・ 最高技術責任者 ・ 製品技術研究所担当、生産技 術研究所担当、システム生産 開発センター担当 ・ 2018年4月入社、64歳	副社長執行役員 ・ 車載事業本部長 ・ 2022年1月入社、63歳



売上高と営業利益の推移

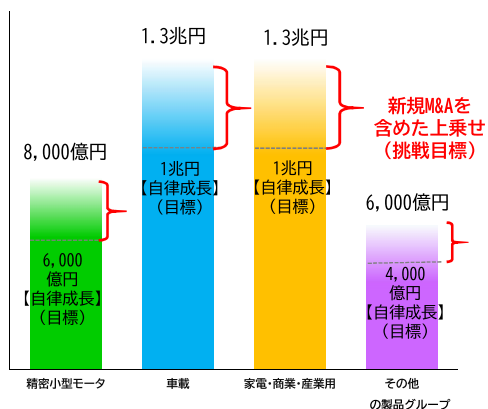


成長領域に軸足を置いた自律成長と新規M&Aによる売上と利益の増加を目指す。

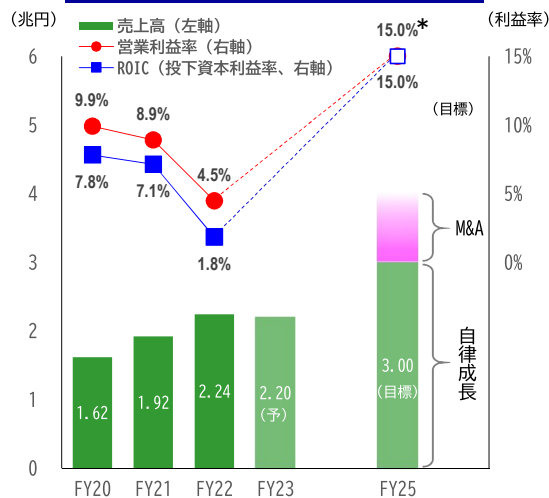
中期戦略目標 Vision2025

2025年度
売上高：4兆円（目標）

売上高目標4兆円を製品グループ別に分解



売上高3兆円（営業利益率15%）
とM&A1兆円で、計4兆円

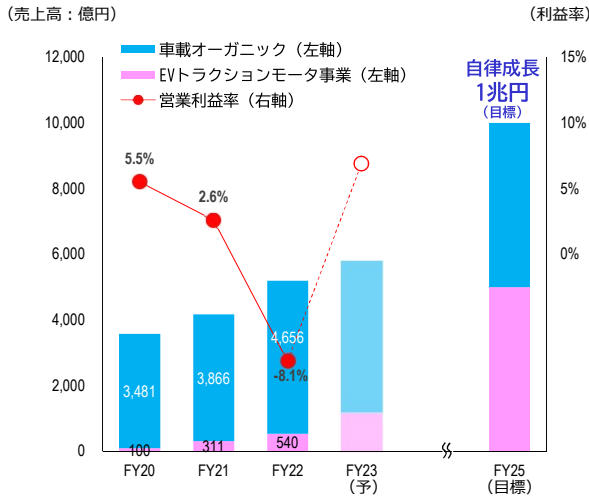


* 2025年度の営業利益率目標15%は、自律成長（売上高3兆円分）に適用。

■ 車載：高成長への打ち手

CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No.1の車載システム企業を目指す

【車載の Vision2025】



【EVトラクション関連】

- FY23は、E-Axle Gen2（第2世代）の投入（目標：E-Axle全体数量の7割超）、並びにGen1（第1世代）の原価低減を図り、営業利益黒字化を実現。
- 商圏を、これまでの中国中心からグローバル（欧米）へ展開。製品も、これまでのE-Axle（システム）に加えてモータ単体を筆頭とした部品にも注力し、売上・利益の成長を強力に推進する。

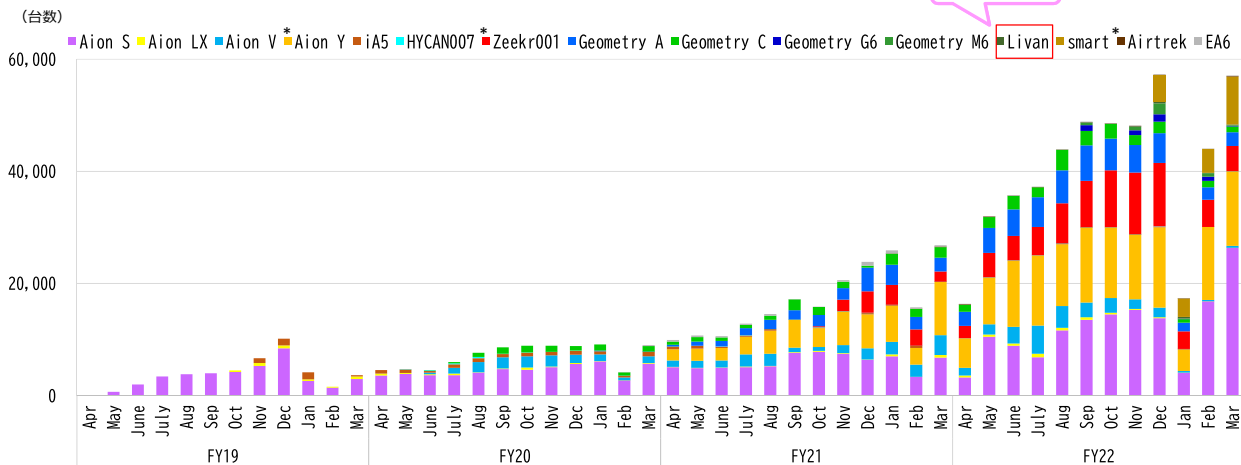
【車載オーガニック】

- グローバル自動車市場は成長率が鈍化傾向も電動化進展による旺盛なモータ等の関連需要を当社は捉え、電動パワーステアリング用や電動ブレーキ用等を軸に、更なる市場シェアを獲得。

■ 車載：当社E-Axle搭載車種の販売状況

当社E-Axle搭載車種はFY20に前年比90%増、FY21同140%増、FY22同138%増

【当社E-Axle採用車種の販売実績】



* Zeekr001、smart、Aion Yは、当社E-Axleを一部搭載。

■ 車載：NEV先進国の中国と欧州の電動化トレンド

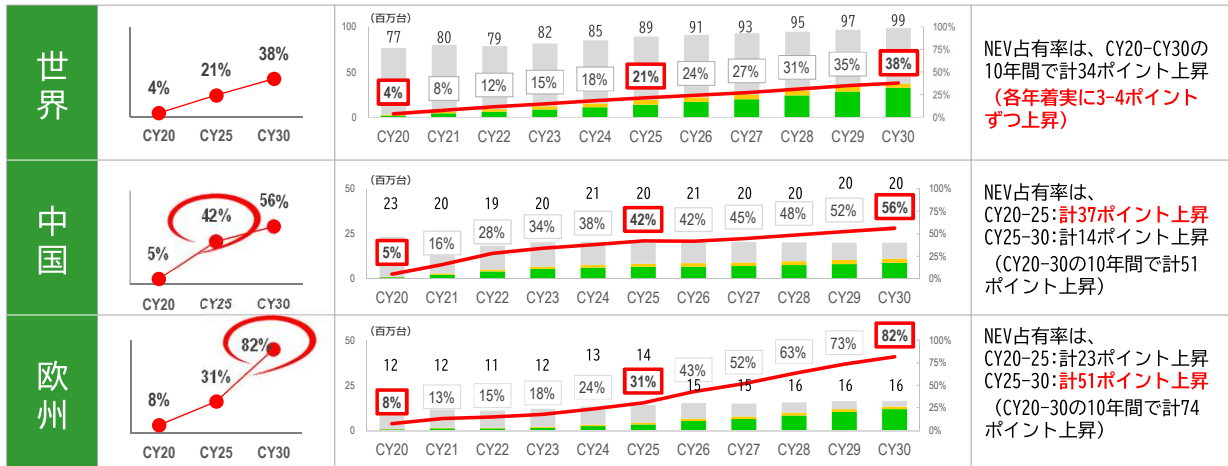


中国は25年までのNEV占有率の上昇が顕著、欧州は25年以降のNEV占有率の上昇が顕著

自動車販売台数予測

■ PHV
■ EV

* NEV (New Energy Vehicle) : ここではEV+PHVを指す。



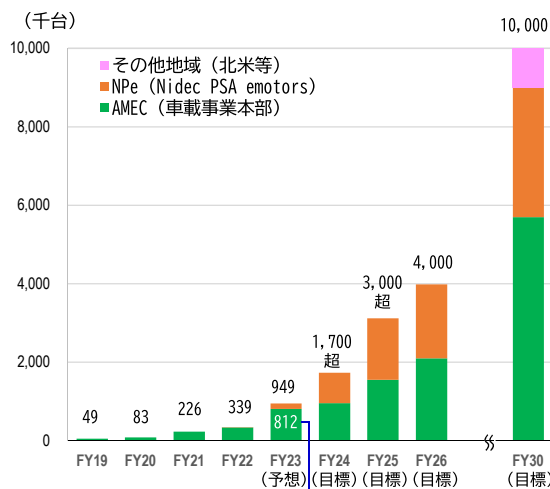
(各種資料より当社推定)

■ 車載：当社E-Axleの販売台数推移

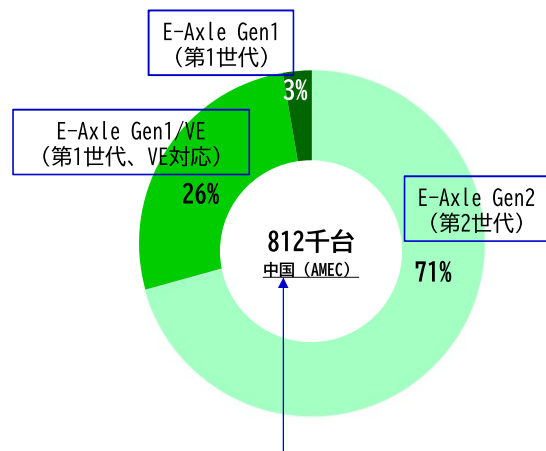


欧州市場等への展開を視野に、FY23以降は収益性を重視のうえFY30の1,000万台を狙う

Nidec E-Axleの販売台数見通し



Nidec AMECの FY23 E-Axle販売計画 (内訳)

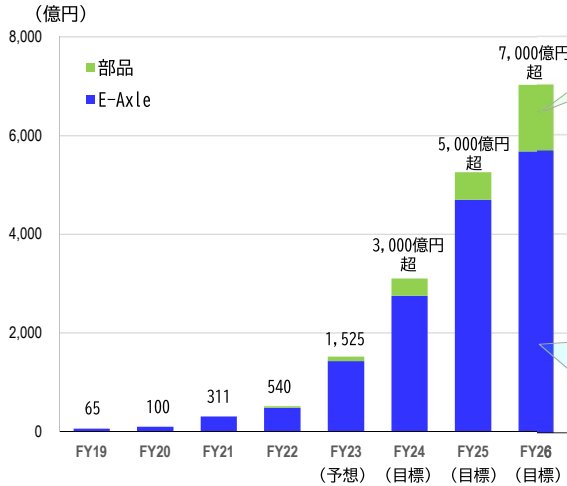


■ 車載：EVトラクションモータ事業の売上高推移



E-Axleに加えてモータ単体等部品にも注力しFY25売上高5千億円（目標）達成を目指す

Nidec EVトラクションモータ事業の売上高推移



【部品】

採用モデル数は今後も拡大

【E-Axle】

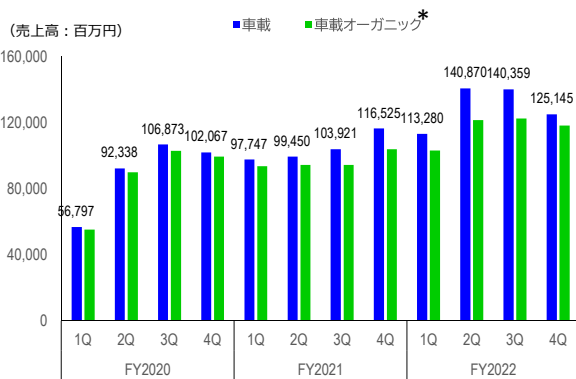
採用モデル数は今後も拡大

■ 車載：四半期別業績推移

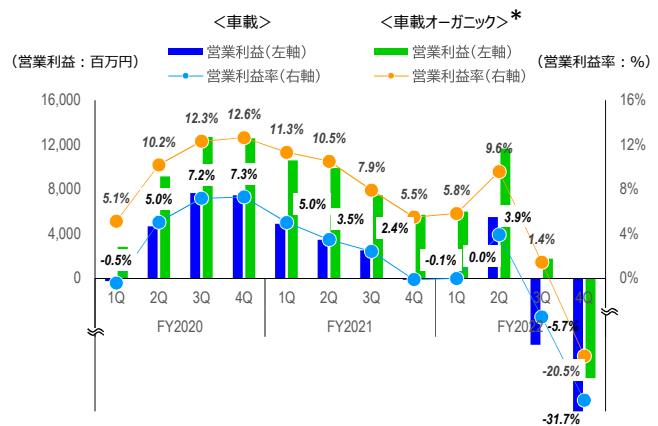


FY22下期は大幅な構造改革費用を計上。FY23からの反転攻勢に備える

【売上高の推移】



【営業利益額と営業利益率の推移】



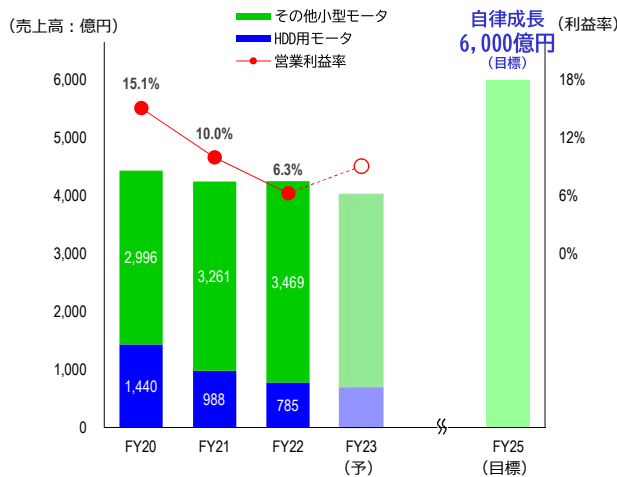
*車載オーガニック・・・車載から、EVトラクションモータ事業による業績影響を除外したものの。

精密小型モータ：セグメント内の事業ポートフォリオ転換を加速



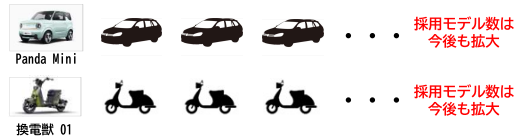
省電力関連やサーマルマネジメント需要の獲得に加え、車載小型モータの量産化を開始

【精密小型モータの **Vision2025**】



【中期成長ドライバー】

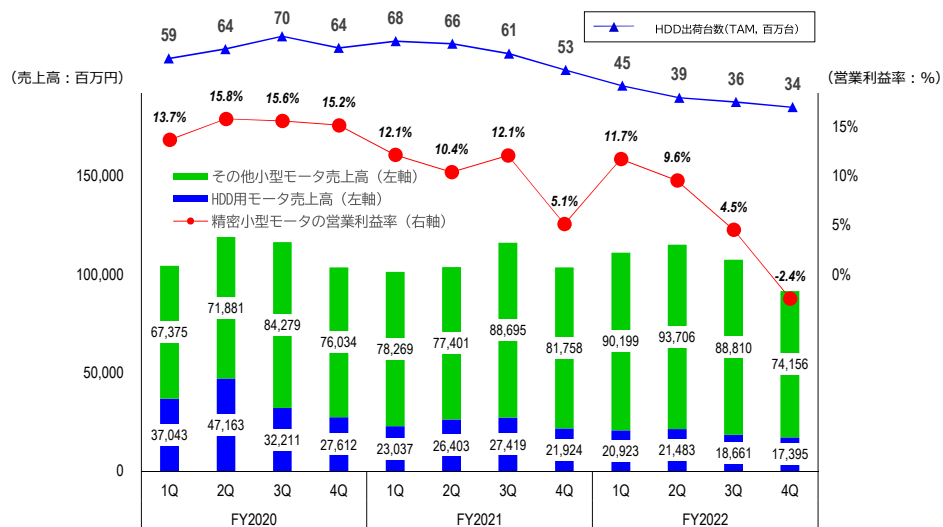
- ①車載小型モータ（電動2輪用モータや出力30kW以下の小型EV用モータ等）、②サーマルマネジメント（冷却ファンや台湾CCI等）、③デジタル家電用モータ、の3分野への集中的な取り組みを通じ、精密小型モータにおけるポートフォリオ転換を着実に遂行。
- HDD用モータは、主にデータセンター向けやサーバー用途の需要拡大を捉え、ニアライン用HDDモータ等の高付加価値品の製品構成比率上昇を通じ更なる高収益化を図る。



精密小型モータ：四半期別業績推移



中期成長を見据えた種蒔きと短期業績の回復に向けた **WPR-X** 活動を同時に推進

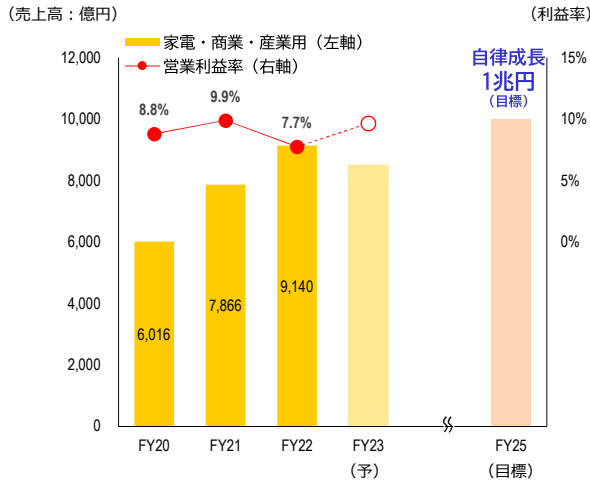


■家電・商業・産業用：高成長への打ち手



高効率モータへの置き換え等グリーンイノベーション関連需要の獲得を軸に高成長を実現する

【家電・商業・産業用の **Vision2025**】



【中期成長ドライバー】

- 家電分野は、高効率モータへの置き換えが進展。空調機・洗濯機・乾燥機・食洗器用や、冷蔵庫用コンプレッサ用途のブラシレスDCモータ需要等を獲得。
- 商業分野は、業務用空調機用途やEコマースで使用されるロボットモジュール等の需要を獲得。
- 産業分野は、再生可能エネルギー市場において不可欠なBESSや、半固体リチウムイオン電池メーカーFREYR社との合併事業に注力。

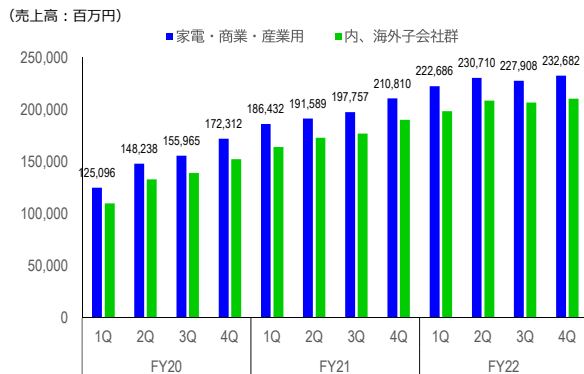


■家電・商業・産業用：四半期別業績推移

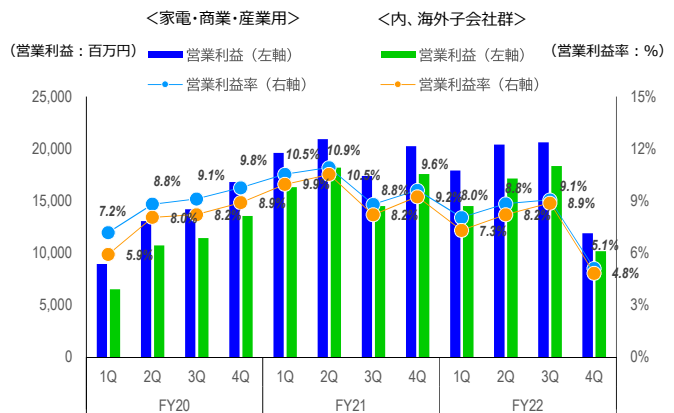


家電・商業を中心としたスローダウン継続も、収益性の改善活動を継続

【売上高の推移】



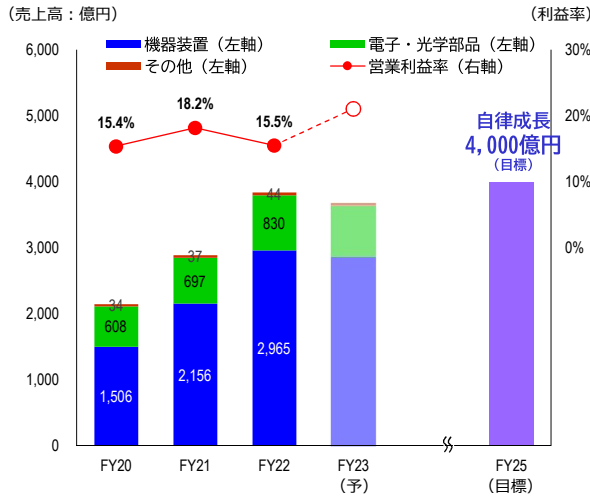
【営業利益額と営業利益率の推移】



■ その他製品グループ：高成長への打ち手

FY23より機械事業本部が始動（減速機・プレス機・工作機械）、機器装置の高成長を牽引

【その他製品グループのVision2025】



【中期成長ドライバー】

- 機械事業本部（ニデックドライブテクノロジー*）でFY25売上高5千億円、FY30売上高1兆円を目指す。
- 波動歯車減速機は、引き続き協働ロボット市場のグローバルシェア拡大を徹底推進。遊星減速機も、欧州に新生産拠点を設け売上拡大を図る（旧NMAスペイン拠点の遊休資産を活用）。
- プレス機は、アンチプラスチック向けやEV向け等の成長分野を強化。周辺の装置も補強し小型高速機から大型機まで全ラインアップを強化。
- 工作機械は、ポートフォリオの充実（販売市場と製品構成の多様化）を図るなか、特に中国市場を深耕し高成長を狙う。



歯車工作機械の生産現場
（中国平湖市のレンタル工場：22年10月～）

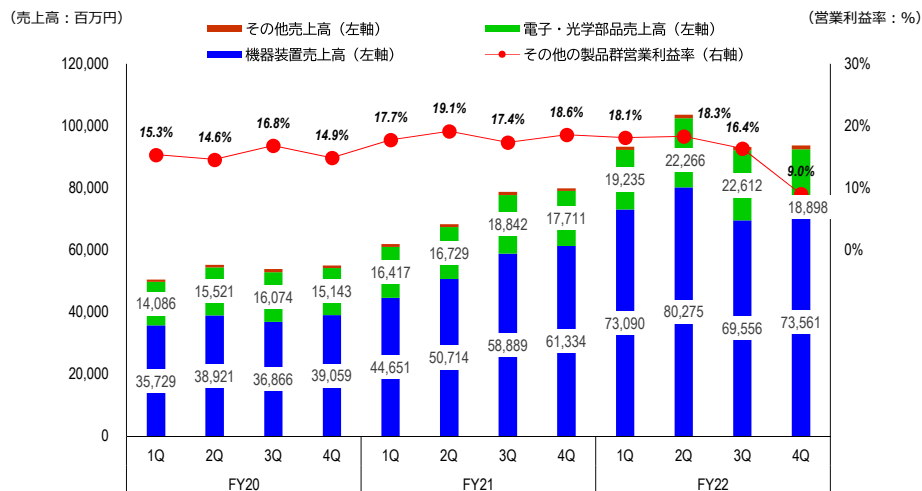


工作機械の中国平湖新工場
（第1期工事：2023年6月竣工予定）

* ニデックドライブテクノロジー：旧、日本電産シンポ

■ その他の製品グループ：四半期別業績推移

その他の製品グループの営業利益率はFY22Q4を除き15%前後で安定推移



■ M&A : (株)緑測器の株式取得を完了



ニデックコンポーネンツ*が有するグローバル販売チャネルを駆使し世界のセンサ需要に応える

【新子会社の概要】

社名	株式会社緑測器
本社所在地	東京都羽村市
設立	1952年7月
新経営陣	代表取締役社長 大平 等 (ニデックコンポーネンツより派遣)
事業拠点	東京(本社・工場)、大阪(営業)
事業内容	ポテンシオメータ及びエンコーダの開発・製造・販売
従業員数	約130名(2023年3月現在)
売上高	27億8,800万円 (2022年3月期)
営業利益	4億9,500万円 (2022年3月期)

【主な製品ラインアップ】

ポテンシオメータ：
機械的な移動量の方向/角度/回転を検出する位置センサの一種。



エンコーダ：
機械的な移動量の方向/角度/回転を検出し、その情報をデジタル信号に変換するセンサ。

ダイヤル/測定器：



* ニデックコンポーネンツ：旧、日本電産コパル電子 25



お問い合わせ先

ニデック株式会社 IR・CSR推進部

Tel : 075-935-6140

E-mail : ir@nidec.com

業績推移・ 製品グループ別状況

■コロナ後の新「5つの大波」



コロナ禍で露呈した人類共通の課題を解決するニデックのソリューションビジネス群

5G & サーマルソリューションの波
(キーワード：触覚、手振れ補正、放熱モジュール)
ファンモータ、ペーパーチャンバー、ヒートパイプ

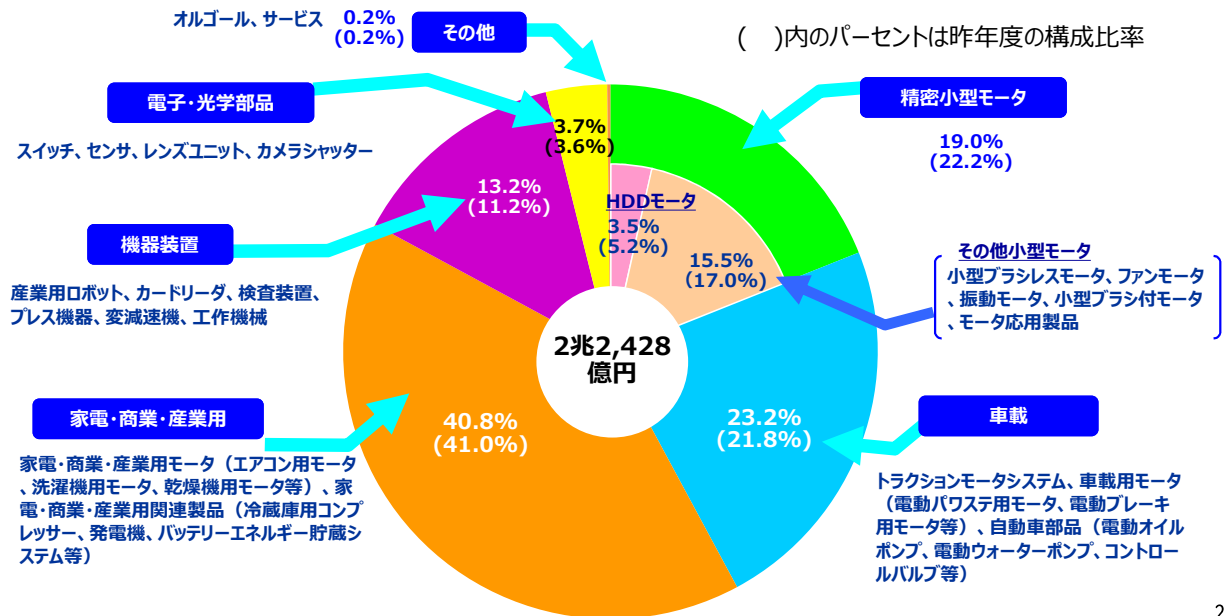
デジタルデータ爆発の波
(キーワード：高速・大容量、GAFA、巣ごもり)
ニアライン用HDDモータ

省人化の波
(キーワード：産業用ロボット、サービスロボット、物流)
無人搬送台車

脱炭素化の波
(キーワード：走る・曲がる・止まる、安全・快適、熱マネジメント)
車載用モータ、トーションモータシステム (E-Axle)、ADAS関連製品

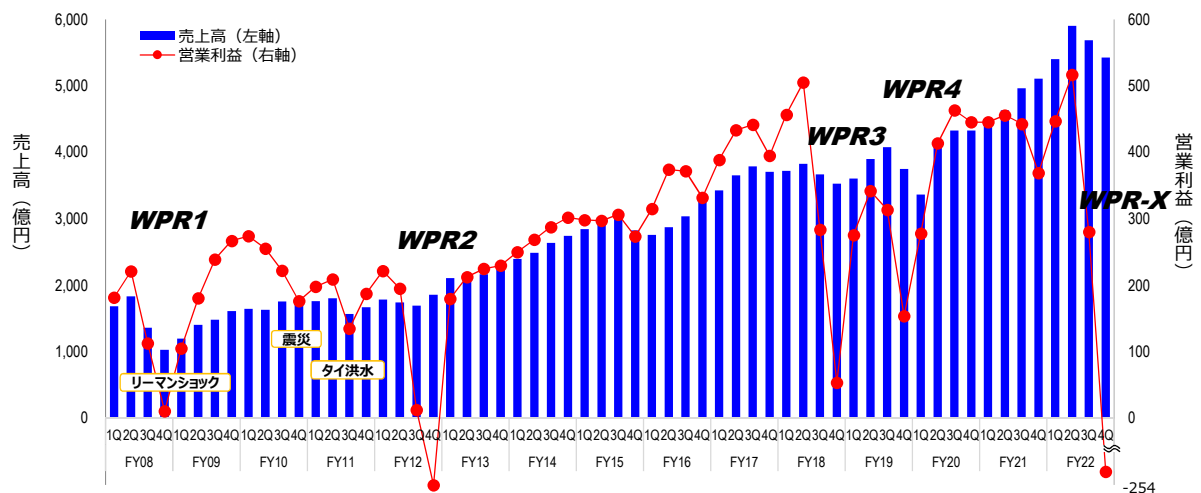
省電力化とコロナ後の波
(キーワード：殺菌、衛生、巣ごもり)
冷蔵庫用コンプレッサ、減速機、ドローン用モータ、家電用モータ

22年度、製品グループ別売上構成

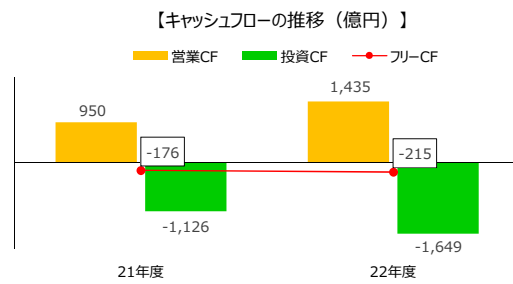
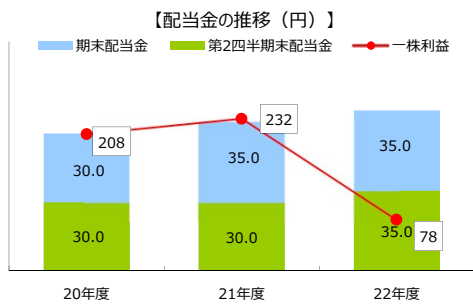
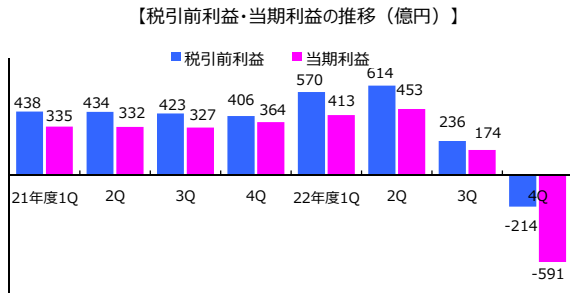
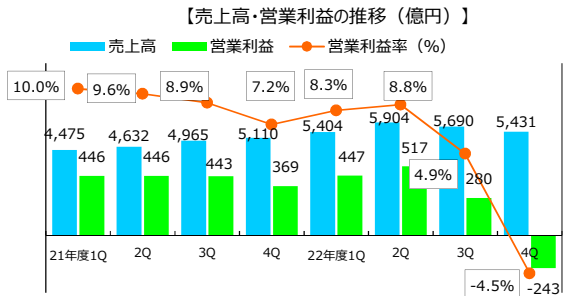


四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

足許の市場環境悪化に伴いWPR-X 活動による抜本的な収益構造改革を実施中



■ 連結決算ハイライト



■ 製品グループ別業績推移

